

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
 予約購読料 1年分 5,000円
 紙代のみ 3,500円
 振替 00140 9 145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
 FAX 03(3207)3918
 発行人 内藤留幸
 編集主筆 竹澤知代志
 印刷所 株式会社きかんし

教団創立記念日礼拝・表彰式

日本伝道150周年記念 キリストこそ我が救い



日本基督教団創立の地、富士見町教会を会場に

すべての民をわたしの弟子にしなさい

2009年6月24日(水)午後1時半～4時、富士見町教会において日本伝道150周年記念、第68回日本基督教団創立記念日礼拝が行われ、全国13の教会から、約320名の教師信徒が出席した。

教団創立記念日礼拝

礼拝は、司会・高橋豊(白鷺)、奏楽千葉仁(富士見町)、説教・山北宣久(教団総会議長、教団信仰告白、聖餐式、献金感謝祈禱、樋田利明(富士見町)の次第により進められ、続いて、伝道牧会50年以上の現職の先生方の業に感謝して、表彰式が行われた。

「すべての民をわたしの弟子に」と題して、山北議長はプロテスタント日本伝道の基点から宣教の歴史を辿った。

「日本開国前1853年7月10日(日)ペリー艦隊がサスケハナ艦上での礼拝をここで捧げられた讃美歌は、今ともし捧げた4番

交読文は100篇であった。艦上ではあるが日本最初のプロテスタントの礼拝である。」

ここから始まる歴史を完全数の7に因んで、「150年セブン」として総括した。150年セブン

163年前の琉球において、多くの難問を貫き、医療、琉球語聖書翻訳に尽くしたベッテルハイムの伝道を覚えなければならぬ。

1859年、プロテスタントの宣教師6名が長崎、神奈川に渡来。禁教・迫害の中、1871年までの12年間で20名の受洗者が与えられた。神の言葉に触れるための日本語への聖書翻訳。伝道にはインスタントな手立てはない。

宣教師たちは教派を持ち込んだのではなく、イエス・キリストを持ち込んだ。垂直軸で言えば、今も昔もこれからの、水平軸で言えば、いつでも、どこでも、誰にでも、垂直軸と水平軸を十字架上で描きながら開かれた教会を形成していった。

1872年、宣教師たちの初週祈禱会。涙ながらに祈るその祈りを私たちに教えてくださいと日本人が申し出た。最初の弟子たちが、イエスに私たちに祈る

ことを教えてくださいと言った姿に重なる。日本伝道は熱き祈りによって前進した。

公会初期の受洗者は青年が多く、15歳の植村正久をはじめ熱き志を抱いた青年を中心に展開された。

日本伝道の曙は、熊本パンドのジェーンズ、札幌パンドのクラークなど、信徒たちが担った。

日本伝道は女性の手で繰り広げられた。後に、女性の人権確立、地位向上、教育振興など、現代日本に大きな影響を及ぼしている。

宣教師・人格的福音

続いて行われた表彰式は、司会・小出望宣教委員長により進められた。

「伝道牧会50年以上の現職の先生方の業に感謝して」行われ、牧会66年の草村美教師(高円寺)をはじめ61名の方々が表彰された。うち出席は26名。

山北議長は、神学校時代に聴いた言葉を披露した。「聖徳太子は3つの宝を持つていたが、牧師には4つの宝がある。びんぼう、しんぼう、きぼう、そして、よぼう。先達に感謝すると共にあつた、家族

の方々に感謝を述べた。「教団は苦しんでいるが、61名の方々が現職でいてくださり、先頭に立っていただくことは希望であり、誇りである。」

最後に引用した聖書「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出さなさい。彼らの生涯の終わりをしっかりと見て、その信仰を見倣いなさい。イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」(ヘブライ13:7-8)

このことを実感として、皆様方のあとに続いて行き



半世紀を越える伝道、その万感の思いを込め

日本人の救いのために、はるばる命がけで渡来した外国人が涙して祈り、御言葉を伝えたいとする不撓不屈の思いが、日本人の心をとらえた。

宣教師たちの人格の中に受肉した人格的福音、それが福音伝道の実を結ぶことになる。イエスの御姿を彷彿とさせるものが宣教師たちに宿っていた。御言葉は福音的な人格を通してなされるということを思うとき、私たちは、あるべき姿を整えさせられる。

▼主の命令
 復活の主の命令は、行って、授け、教える。この3つの言葉に集約されている。これが、弟子としての私たちのなすべきこと。

行って新来会者を求道者へと導く。求道者を受洗者へと導き、受洗者が聖餐を受け、それぞれの場において

「すべての民をわたしの弟子にしなさい」なお弱き私たちに近づいて、そう命じてくださる主によって心を合わせる時に、様々な不安や恐れを超えて、私たちはここから散らされていく。

私たちは多くの困難があることを覚えている。しかしその時こそ、復活の主が共にいてくださる、そのことを実感させられる時とも

主は地上にて、教え、癒す誘った。一人ひとりに手渡された記念の品は、表彰状と文語訳聖書、讃美歌280番わが身のぞみはを賛美し、共に感謝と祝福の拍手が続いた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「汝の大庭にすまう一日は千日にもまさり、我は悪の幕屋におらんよりは、むしろわが神の家の門守とならんことをねがうなり...詩84篇。この面の記事にあるように、教団創立記念日礼拝に於いて、50年以上伝道・牧会しなお現役にある方々が表彰された。49年の方はとか、いろいろと議論はあるだろうが、素直に方々のお働きに感謝し、そして羨望しても良いと思う。人に言えないような苦勞もあつたらう。しかし、素晴らしい。神さまの家で50年を過ごすことが出来たのだから。今後、総会毎に表彰したらと、提言したい。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

伝道牧会50年以上表彰式

「伝道牧会50年以上の現職の先生方の業に感謝して」行われ、牧会66年の草村美教師(高円寺)をはじめ61名の方々が表彰された。うち出席は26名。

山北議長は、神学校時代に聴いた言葉を披露した。「聖徳太子は3つの宝を持つていたが、牧師には4つの宝がある。びんぼう、しんぼう、きぼう、そして、よぼう。先達に感謝すると共にあつた、家族

の方々に感謝を述べた。「教団は苦しんでいるが、61名の方々が現職でいてくださり、先頭に立っていただくことは希望であり、誇りである。」

最後に引用した聖書「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出さなさい。彼らの生涯の終わりをしっかりと見て、その信仰を見倣いなさい。イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」(ヘブライ13:7-8)

このことを実感として、皆様方のあとに続いて行き

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。



半世紀以上を主のご用に仕えた伝道者たち

先輩の方々に感謝をいたしましよ。もちろん、信徒の方々のなされた苦勞を決して私たちが忘れてはならない。この証しは大きな拍手を呼びました。

「私は、青年時代病身だったが、毎晩街角に立つて伝道していた。勘当されて家を出た。山陰線の車上で祈っていた時激しい胸騒ぎがし、召命の声を聞いた。私は素直に従った。」

日本伝道150周年記念にあたって、既にその業を終えて、主の御許に召された

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。」

荒野の

(鈴木功男報)

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しから。疲れてるから。気が乗らないな。教会?いいよ、遠慮しなく夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君もお母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。」

教区独特の手続きを経て准允式

神奈川

第122回神奈川教区総会が6月27日、清水ヶ丘教会で開催された。正議員222名中183名の出席で成立した。

開会礼拝は逝去教師を憶えつつ献げられ、来賓紹介や組織等、所定の手続きが進められ、議案第一号、補教師の准允執行に関する



岩崎隆議長司式による准允式、7名が受領

件」が上程された。7名の志願者が、それぞれ所信を述べ質疑を経て採決に入ったが、採決の前、神奈川教区独特の手続きがここで行われることが慣わしである。それは、志願者が受験した教師検定試験が、神奈川教区から見ても当否かを諮るもので、議長は「このたびの教師検定試験が、神奈川教区から見ても不当であるとは言いえない、と思う方は拳手を」と求めるのである。この独特な手続きについては、受験拒否者の存在や二種教職制と検定試験に関する神奈川教区からの問題提起の歴史等が背景にあるが、そもそも教団の教師検定試験の当否を教区が問うのはおかしいといった批判や議論が

あった。しかし今回は議論も出ず、儀式のように淡々と進められた。ただ、こうした無風状態がかえって問題を風化させていると捉える向きもあり複雑である。今総会では、とくに議論となつた議事はほとんど見られなかったが、2009年度各種委員の選任に関する件」では、「オリエンテーション委員会」では紅葉坂教会の北村慈郎氏が委員長とされていることについて、信徒議員から疑義が出された。教憲・教規を明らかに守らない者が委員長となるのはおかしいとの理由から、同委員会の選任についてのみ別に採決してほしいとして動議とされ、議論されたが、動議は少数否決となり、原案が賛成多数で

声 明

本日、警視庁は世界基督教統一神霊協会（統一協会）信者が運営する有限会社新世のいわゆる霊感商法の手口による物品販売等の活動について、同社代表取締役田中尚樹をはじめとする統一協会信者らの逮捕及び統一協会渋谷教会など関連施設数か所に強制捜査を行った。

有限会社新世の物品販売等の活動は、教祖文鮮明の毎月いくら、さらにいつまでにいくら送金するという指示を実現するために、全国各地でなされている活動の冰山の一角にすぎない。その手口の計画性、組織性、悪質性及び被害金額が莫大であることは、他の悪質商法に例を見ないものである。今回の強制捜査は、沖縄・長野・新潟・大阪・福岡の各県における強制捜査につづくものであり、長年に亘る統一協会の悪質な資金集めの実態を解明し抑止するうえで高く評価できる。

上記強制捜査を踏まえ、統一協会の経済活動を担う幹部らをはじめ事件責任者らの刑事責任が厳正に追及され、同種被害の抑止に寄与することを期待する。

当連絡会は、被害者らが泣き寝入りすることなく、自らの被害回復に立ち上がるよう、呼びかけたい。それが新たな被害の防止に役立つことを理解してほしい。

2009年6月11日

全国霊感商法対策弁護士連絡会
事務局長・弁護士 山口 広

〒163-8691 東京都新宿区新宿郵便局私書箱 231 号
TEL:03-3358-6179 FAX:03-3358-4679
ホームページ <http://www.mesh.ne.jp/reikan/>

消 息

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

担任教師）
4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏（隠退教師）

担任教師）
4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏（隠退教師）

担任教師）
4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏（隠退教師）

担任教師）
4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏（隠退教師）

事務局報

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にとりまとめられた。ここで示されたデータを深刻に受け止め

正教師登録	中井利洋、山内満寿	加藤 恵	梅田憲章、中田美歌	水島祥子	池谷明高、信岡茂浩	深谷与那人、小西哲郎	老田 信新保恵子	後、高砂教会に赴任、品川教会を経て、'66年から島之内教会を牧会し、'98年隠退した。遺族は、妻・由記子さん。	佐藤良司	浅草北部	東調布	柿ノ木坂	下石神井	武蔵野緑	浦谷	八戸小中野	知立	遠州	多良見	天草平安	石和	愛宕町	諏訪	
補教師登録	石垣弘毅、佐藤紀子	田村毅朗、中野 円	五十嵐悦子、五十嵐高博	大住公平、大澤正芳	大澤みずき、久下倫生	小糸健介、竹田常司	米山恭平、中村奈津子	満仲 弘	中川好幸、才藤千津子	大藪朝祥、田栗 宏	筒井信行、山田雅人	上原芳子	加藤俊英、兼松千佳子	齋藤 開、出口尚弘	廣田宗示、松田光代	矢吹大吾、浦井 徹	阿部倫太郎、浦上 充	小椋実央	太田 望					
就任	平良川	神戸	浜坂	小松川	駒場工	天王台	取手	岸和田	船橋	豊中	代官山	浦安	東梅田	吹田	神和	大阪福島	南大阪	河内天美	河内天美	いすみ	南住吉	鶴見橋	御坊	内灘
就任	比嘉盛一郎	川合 望	小林 聖	東海林昭雄	佐々木良子	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博	山田康博
就任	有田典生	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子
就任	有田典生	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子	磯部紀代子

訂正・お詫び
「1000円献金欄、倉敷142,551は130551の誤りでした。以上、お詫びして訂正致します。」
日本基督教団年金局「隠退教師を支える運動」
訂正・お詫び
新報4676号、1面、兵庫教区総会記事で、写真のキャプションで「マスク着用が義務づけられた」とありますが、マスク着用が義務づけられた事実はありませんでした。文中、「特にセンター職員採用やセンター運営について、今までより詳細な規則が定められる事」とありますが、これらの規則が定められた事実はありませんでした。センターを含め教区別の運営や任務について教区規則上、別に定めると規定し、その取り組みが次期総会に向けてなされることとなり、お詫びと共に訂正させていただきます。

献身のとき

NOOSHIN
KENSHIN
TOKI

No.4



10年後に聞かれた祈り

上田光正(美竹教会教師)

「わたしには深い悲しみがあり、わたしの心には絶え間ない痛みがあります」(ローマ9章2節)。

わたしが献身を決意したのは、ほとんど一瞬のことであった。高校時代から、自分が何になるべきかを思い悩んでいた。しかし、幾ら考えても答えは得られず、悶々としていた。教会に行き始めたのは、大学に入った1960年の春。その年のクリスマスに受洗した。

医学部に席を置いたのは、家業を嗣がたかたからではない。単に、6年間も時間があり、その間に天職が何であるかが分かるかも知れない、と考えたからである。教養学部を終え、医学部の入学式を終えた日の夜、召命を受けた。

何の迷いもなく、むしろ、自分がこの世に生を受けた理由が明らかとなったことを喜んだ。自分の将来と言っても、人生の転換期になったときに、初めてリアルに示されるものよつである。翌朝東神大に行き、仮入学の許可を得た。

献身で一番傷つけてしまったのは、両親である。今にして思えば、どうして一日でも二日でも心の備えをさせてから神学校へ行けなかったのかと、配慮の足りな

さが悔やまれる。父は寝込んでしまった。せつなく東大医学部に入った長男が、最低生活者となるのか、と。もっとも、家業の方は妹や弟が3人も医者になったので、嗣がれることにはなつた。

わたしは神学校の寮から一生懸命母に手紙を書き、熱心に両親の救いを祈り続けた。しかし、なかなか聞かれなかった。ある夜、夢を見た。両親がわたしの前に並んで正座し、首を垂れながら、次第にわたしから遠のき、小さくなってやがて消えて行く夢である。わたしは夢の中で激しく慟哭し、目を覚ました。汗をかき、心臓の鼓動が痛いほど強くいつまでも鳴り止まなかつたことを、今なお忘れることが出来ない。

話は少し変わるが、わたしが神学校を卒業した頃から、日本の教会の講壇では十字架と復活の福音が余り語られなくなつていった。何が起り始めていた。わたしは自分の神学をしっかり確立させる必要を痛感し、5年半ほどドイツに留学した。その間に、教団では万博問題、東神大問題、教師検定試験問題などが次々と発生し、宣教の理解をめぐって、教団は時代の嵐に翻弄され続けた。恐れていたことが起つたのである。

その間、わたしの母は遠くへ去つた息子の面影を求めようと、教会に通つていたよつである。教会に行きさえすれば、息子に会えると思つていたのである。やがて信

仰を与えられ、寝たきりの父を看病しながら伝道し始めた。父も母を通して信仰を与えられ、死の直前に洗礼を受けることになつた。わたしはわざわざドイツから一時帰国し、父に授洗した。父の死をドイツで知つた。その前日の夜、父がかつて見せたことのない、太陽のような笑顔で天に召されて行く夢を見た。わたしの祈りは、10年後に聞かれたのである。

ドイツから帰国し、高知県の安芸教会で6年、石川県の若草教会で5年、そして現在の美竹教会で25年牧会している。

しかし、わたしの心はなお、冒頭の聖句を離れることがなかつた。と言つのは、教団は今なお荒れ続け、一時は教勢が増えたと見えても、全体的に見れば、やはり衰微の一路を辿っているからである。あの、わたしの前に正座しながら首を垂れて次第に遠のいて行つたわたしの両親が、再び元気でわたしの前に現れ、大きな笑顔で微笑んでくれたように、教団は甦らないものだろうか、と切にこいねがいつつ祈り続けている。



美竹教会礼拝堂

教団教師連盟の設立を目指して

— 教団教師代表者会・研修会報告 —



6月1日・2日の両日、東京代々木の国立オリンピック記念青少年センターを会場に標記の会が開かれた。教団教師連盟協会の主催で、沖縄、北海の2教区(教団教師不在)以外の全教区から30名が参集した。日本基督教団教師連盟設立に向けて、を主題として論議を深めた。

開会礼拝に続き、参加者の自己紹介も兼ね、「教区報告」が行われた。地域毎に施設数、教師数、教区状況等の格差はあるが、教団活動が教区や地区の伝道委員会等の中に位置づけられ、支援予算が計上されておき、年毎に支援体制が強化されている状況が報告された。

教団も伝道委員会が、毎年助成金と「宗派負担金」を支弁していることや、「全国教師連盟(全連)」創立50周年大会、特別分担金を負つたこと、さらに伝道委員会担当委員と担当幹事が代表者会等に出席し、物心両面から当協会活動を支援していることが感謝をもつて報告された。

また、個々の教師の課題を話し合う時があり、新任の悩みや先輩の体験等が率直に交換され、先年協会のよりに発刊された「教団教師連盟」について、2日間わたる日程が割かれ、真剣な議論が展開された。発題をとおして、過去の歴史の振り返りと協会の歩みと限界が語られた。

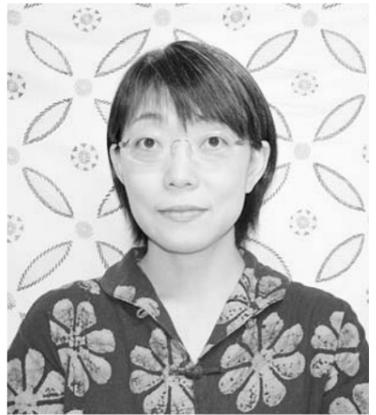
教団刑務所伝道委員会が機構改正で無くなり、自発的に「協力会」が組織された。しかし既に40年以上経過し、時代状況に適合しない部分があること、任意団体であるがゆえに「教団が教団宣教の働き」意識の希薄や教師の個人プレー的理解の者もある。「教団・教区の業」であることの再確認と教団全教師の参加が必要であり、仏教・神道等の他宗教との関係と「全連」でのキリスト教の確保のためにも「教団教師連盟」の意義があるとされた。議論の末、設立が賛同、承認され、拙速を避けるために教区代表による「設立準備委員会」を設け、実現を目指すこととなった。

(土橋晃報)

ひととき

金澤 真実さん

日本盲人伝道協議会の主事として期待される



仙川教会員。好きな聖句は、コ口サイ3・13、讚美歌は270番。

金澤真実さんの歩みは、人を包み込む穏やかな語りからは想像できないほどのパワーあふれるものである。まず高校生のとき、仙川教会で高校生会聖研の学びを通して導かれ受洗。神学校への献身も考えたが、結局は忠実な信徒として教会を支えるキリスト者になる召命を強く覚えたといつことである。

大学卒業後、東神大の図書館を経て、YWCAに勤務、ここで一教会・一教団の枠を越えた広い視野を与えられ、途上国でぜひ働きたいという思いが与えられた。そして、青年海外協力隊に参加、1990年から約2年間バンガラデシュにおいて活動し、このときベンガル語の訓練も受けた。金澤さんによれば、

これも神様の導きであった。帰国後、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンに勤務、阪神淡路大震災の援助活動に従事する中で、関西在住の盲伝の理事の方と出会う。この方が、バンガラデシュの視覚障害女性の生活自立センターに関わっておられ、1993年その開所式の通訳をしたことから、盲伝と関わることになったのである。

その後結婚、夫の学業を支えるためポーランドで青年海外協力隊の調整員として働き、さらに自身の研鑽のためにアメリカに行き、大学院で非営利組織のマネージメントについて学ぶ。

奇しき出来事、乳癌が見続く。

今この課題の一つは、中途失明の方々への伝道である。さまざまな宗教から勧誘を受けた結果、宗教に不信感を抱く方々とう人格的な出会いをもち、キリストの福音へと導くか模索は続く。

第36総会期 第2回年金局理事会

第36総会期第2回年金局理事会が開催された。

6月18日(木)19日(金)開催された年金局理事会で、2008年度年金局事業報告ならびに決算に関する件、2009年度年金局財務計画額補正に関する件、および2010年度年金局財務計画額に関する件を審議し、承認した。この2案は第36総会期第2回常議員会に議案として提出することとなった。

2010年度の謝恩日献金の計画額は2007年度、2008年度、2009年度同様1億1千万円を計上した。

2008年度の謝恩日献金の実績が目標値の41%にとどまつたことについて各教区の状況の報告がなされた。その上で2009年度の謝恩日献金の実現については、「各教区はそれぞれの事情に応じた対応の方法で努力することとし、その時の献金目標値は、教区の負担金の賦課率による」とを再確認し、目標値に近づけるための方策を協議した。そして各教区代表理事が教区目標達成のためにそれぞれ努力している状況を報告し、情報を共有した。これは今後方策を練る上にも、お互い大変参考になる話し合いとなった。高橋豊理事長は「謝恩日献金の実現に向けて、各教区代表が苦心努力していることに謝意を表した。また、謝恩日献金は教会として、そして教区として取り組んでほしいので、教区三役、常置委員会に積極的に働きかけ、十分な理解を得て、実現のために努力してほしい」と述べ、出席者は認識を新たにされた。

また7月の第2回常議員会の議案審議の中でも年金局からこの旨を訴えることとした。

(櫻井淳子報)